



く ん せ ん 薫 泉

学校の目標
社会の変化に自ら対応でき、豊かな心を持ち、表現力豊かな国際人を目指し、次のような子どもを育成する。
・よく考え、進んで学習する子ども
・いつも元気で、しようぶな子ども
・こころ豊かで、やさしい子ども

ひとつの目標に向かって心をひとつに

校長 井上 光広

九月十八日から二十日までの三日間、六年生と共に「とうぶ移動教室」に行つてまいりました。前の週には台風十五号が関東地方を直撃し、学校を臨時休校にしなくてはならなかったり、移動教室直後には台風十七号が迫ってきたりと、嵐の間を上手にぬって長野県へ出かけたという幸運な状況でした。おかげさまで、全日程を変更することなく実施することができ、気持ちの良い三日間となりました。

この移動教室に向けて、六年生の子どもたちは、自らひとつの目標(スローガン)を立てました。

「一致団結」 「悔いのない三日間」 という言葉です。私自身もこのスローガンを初めて聞いた時、すぐに覚えられるし、卒業に向けて学年をまとめていくためには、最も相応しい内容だ、よく考えて立てたなと感心しました。そこで、三日間の予定の中、六回の校長講話で、子どもたちが考えた「一致団結」 「悔いのない三日間」 「」に関連する内容で語り続けました。全員の心をひとつにすること、それぞれの係で全力投球することで悔いのない三日間を生むこと、一緒に来ている相生小学校の友達からも学ぶことがたくさんあること、矢口小学校の後輩たちに残せる新しい伝統を作るために、最終日には「全力清掃」でピカピカにして宿舎を出ることなど、折々に子どもたちの指針となるように語つたつもりです。六年生は、私たち引率教員の期待に応え、目標を達成するために、真面目に仕事に励みましたが、多少の失敗はあつても、次にはそれを取り戻していくといった目に見えた成長をしてくれました。こうし

た頑張りを最大に褒めてあげたかったため、「帰校式」での講話では、「君たちには百点満点ではなく、三百点をあげたい。」という言葉をかけさせてもらいました。学校の取組だからこそ、家庭や塾などではなかなかできない、全員がひとつになつて、同じよう気持ちで達成感を味わうということが可能だと感じます。本校の学校経営の大きな柱が「目標意識を強くもつて、ゴールを目指して大きく成長すること」です。その目標の中でも重要なものが学校教育目標の「よ・い・こ」です。

ところで、十月は本年度二回目の「早寝・早起き・朝ご飯月間になります。こちらに関しても、御家庭で目標を立てて、健全な心身を保てるよう、御協力のほど、よろしくお願いいたします。

※これまで御案内の通り、学校の電話は十月一日から、平日十八時から翌七時三十分まで、土日祝日は終日、電話対応時間外となり自動応答メッセージが流れるようになります。

特別活動

特別活動部

特別活動において、育てたい力には、人間関係形成・社会参画・自己実現といったものがあります。これらは、大人が決めた活動や内容で育つものではありません。集団活動に自主的・実践的に取り組むことが大切です。学級会で自分たちの学級目標に向かってできることを話し合う。委員会で学校を少しでも良くするために工夫したことを主体的に活動する。クラブ活動では、やることを決めて準備して計画的に取り組む。などです。

今回改正される小学校学習指導要領における特別の教科「道徳」と特別活動では、目標や内容で共通することがあります。例えば、目標の「自己の生き方について考えを深め」や学級活動の内容の「協力し合つて楽しい学級活動をつくる」などです。特別活動を充実させることが、道徳教育に役立つということがいえると思います。

十月の生活目標

友達となかよくしよう 生活指導部

十一月の文化フェスタに向けて、各学年で友達と協力しながら学習を進める機会が増えてきています。

そこで今月の目標は「友達となかよくしよう」です。相手の気持ちを考えて行動したり、友達となかよくなれる言葉を遣つたり、友達の良いところを積極的に見つけたり、様々な場面で思いやりをもつた行動が意識してできる様に、今月は指導していきます。

なかよく楽しい学校生活を送ることができるよう一人一人が心がけ、矢口小学校を明るく笑顔の溢れる学校にしていきましょう。

十月の行事予定

- 一日(火) 都民の日 全校遠足 教育実習(終)
- 二日(水) 午前授業 五年一組家庭科研究授業(五校時)
- 三日(木) 避難訓練
- 四日(金) 安全指導 生活リズムチェック週間(終)
- 八日(火) 校外学習(一年)
- 九日(水) 読み聞かせ 午前授業
おはようウェーブデー(〜一日)
四年一組研究授業(五校時)
- 一〇日(木) 学校公開 地域教育連絡協議会
なかよし班ロング遊び(三・四校時)
- 一日(金) 学校公開 委員長紹介集会 セーフィ教室
午前授業
- 二日(土) 学校公開 土曜補習
体育健康教育保護者対象講演会(三校時)
- 五日(火) 校外学習(二年) エンジョイタイム
- 七日(木) 地域清掃(一・二年) 工場見学(三年)
- 八日(金) 体育朝会
- 二日(月) 委員会
- 二日(火) 即位礼正殿の儀(祝日)
- 二五日(金) 文化フェスタ集会
- 三一日(水) 文化フェスタ前日準備



4年生の窓



◆ 国語「だれもが関わり合えるように」では、調べたことを模造紙に整理してまとめ、より聞き手に伝わるように工夫しながら発表することを単元のゴールに学習を進めてきました。

まず初めに、『関わり合う』には、どんなものがあるか考えました。真つ先に浮かんだのは、「話す聞く」（おしゃべり）。その後に、「書く読む」（手紙・メールなど）や「ふれる」（肩をたたく）などもあるのではないかと考えを広げながら話し合いを進めました。その後、十九歳で失明し、視力を失った方が書いた読み物資料「手と心で読む」を読み、点字や手話で関わり合っている人達もいることに気が付きました。

資料をきっかけに、視覚障害について、各グループで課題をもち、調べ学習をしていきました。点字についてより詳しく知ることや、町や建物、生活用品のなかにある工夫、パラリンピックとも関連させてスポーツの種類等、それぞれに課題をもち情報を集めていきました。

調べたことを模造紙にまとめるときは聞き手を意識し、詳しい説明は口頭で行い、絵や図、もつとも伝えたいことは、大きく模造紙にまとめるなど工夫が見られました。よりわかりやすく伝えるために、各グループで話し合い工夫をしていきました。説明原稿を考える際も、声の強弱、読むスピード、間を開けるなど、考え作成してました。

そして、迎えた発表会。どの班も少し緊張しながらも、自分たちの調べまとめてきたものを、堂々と発表してくれました。それぞれの班に工夫が見られ、発表を見ていただけでも多くの学びがありました。

今後、総合的な学習の時間で調べたことの発表会なども予定しています。今回の学習をいかして、さらに良い発表になっていくと良いです。

移動教室【6年生】

『一致団結 く悔いのない三日間』

九月十八日（水）～二十日（金）、とうぶ移動教室がありました。二泊三日を充実した時間にするために、学年全員で力を合わせて学習に取り組みました。

一日目の出発時はやや天気心配されていましたが、無事に出発式を行うことができました。長時間のバス移動でしたが、バスレク係の様々な準備のおかげで車内を楽しく過ごすことができました。そして、夕方には小雨が降っていたものの、屋外でキャンプファイヤーを行うことができ、本当に天候に恵まれていると感じました。炎を囲み、みんなで歌ったり、踊ったり大いに盛り上がりました。

二日目は、東麓の登山の登山と池の平湿原のハイキングでした。ごつごつとした足場の悪い道でしたが、友達同士で励まし合いながら全員が登頂することができました。頂上から見える三百六十度の大パノラマは絶景でした。

三日目は、「全力清掃」というキーワードを掲げ、お世話になった宿舍を丁寧に清掃しました。そして、さらしなの里で古代体験や縄文飾り玉作りを行いました。楯円や四角、勾玉型など工夫しながら削り、自分だけの作品に仕上げることができました。縄文人に変装し古代パークをうれしそうに駆け回る姿が印象的でした。

二泊三日、協力し合い、よく考えて行動しました。どの係でも進んで行動する姿が多々見られました。食事係の大活躍により準備時間がとても短く済み、その後の活動に余裕をもつことができました。また、美化や入浴係が物の管理や整頓の確認を念入りに行ったことで、落とし物がとても少なく過ごすことができました。キャンプファイヤーやレク係の万全な計画によりみんなで安全に楽しく盛り上がることができました。そして、みんなをまとめ、一致団結に向けて努力した室長や副室長、班長の見通しをもった行動や声掛けが素晴らしかったです。この三日間の経験を糧に、あと六ヶ月の小学校生活をみんなで最高なものにしていきたいと思います。